

一般国道 2 号 岡山倉敷立体（Ⅰ期）

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号 おかやまぐらしきりつたい 岡山倉敷立体（Ⅰ期）				事業区分	一般国道		事業主体	国土交通省 中国地方整備局	
起終点	こしんでん むつ おかやま おかやま みなみ こしんでん おかやま つくば はやしまちょうはやしま 古新田～無津地区：岡山県岡山市 南区古新田～岡山県都窪郡早島町早島 かすやま おかやま ぐらしき かすやま おかやま ぐらしき ふつかいち 加須山地区：岡山県倉敷市加須山～岡山県倉敷市二日市							延長	6.4 km	
事業概要										
一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 岡山倉敷立体（Ⅰ期）は、岡山県岡山市 南区古新田から都窪郡早島町早島及び倉敷市加須山から同市二日市の延べ延長6.4kmの道路である。事業目的は、岡山市～倉敷市間における交通の円滑化及び交通安全の確保、産業の活性化等である。										
R4年度事業化			R3年度都市計画決定 （R6年度変更）			R6年度用地着手		工事未着手		
全体事業費		約622億円		事業進捗率（令和6年度末見込み）		1%		供用済延長		O.0km
計画交通量		68,600 ～ 77,800 台／日								
費用対効果分析	B/C	EIRR		総費用		総便益		基準年		
	（事業全体）	（事業全体）		（残事業）／（事業全体）		（残事業）／（事業全体）				
	2.2			460 / 464 億円		1,007 / 1,007 億円				
	（参考）3.3 [2%]	8.9 %		〔事業費：437/ 441 億円〕		〔走行時間短縮便益：745 / 745 億円〕		R6 年		
	4.1 [1%]			〔維持管理費：23/ 23 億円〕		〔走行経費減少便益：226 / 226 億円〕				
	（残事業）	（残事業）		〔更新費：－/ － 億円〕		〔交通事故減少便益：37 / 37 億円〕				
（参考）	2.2			感度分析	（事業全体）		（残事業）			
	3.3 [2%]	9.0 %			交通量	B/C=2.0～2.4（±10%）	交通量	B/C=2.0～2.4（±10%）		
	4.1 [1%]				事業費	B/C=2.0～2.4（±10%）	事業費	B/C=2.0～2.4（±10%）		
					事業期間	B/C=2.0～2.4（±20%）	事業期間	B/C=2.0～2.4（±20%）		
事業の効果等										
①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 はやしまちょう おかやま ・早島町～岡山駅へのアクセス向上が期待される。 ぐらしき おかやま ・倉敷市～岡山空港へのアクセス向上が期待される。										
②物流効率化の支援 おかやま みずしま ・岡山市から水島港（国際拠点港湾）へのアクセス向上が期待される。										
③国土・地域ネットワークの構築 おかやまぐらしき ・高規格道路「岡山倉敷道路」の一部として位置づけられている。 ぐらしき おかやま ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡するルートを構成する（倉敷市～岡山市） はやしまちょう おかやま ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる（早島町～岡山市）。										
④個性ある地域の形成 こうらくえん おかやま ・後楽園・岡山城周辺（R5観光入込客数：約173万人／年）へのアクセス向上が期待される。										
⑤安全で安心できる暮らしの確保 おかやま きた たかまつ おかやま ・岡山市北区高松地区～岡山大学病院（第三次救急医療施設）へのアクセス向上が期待される。										
⑥災害への備え おかやま ・岡山県緊急輸送道路ネットワーク計画の第一次緊急輸送道路に指定されている。 ・第一次緊急輸送道路である山陽自動車道が通行止めになった場合、その代替路を形成する。										
⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される。										
⑧生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が期待される。 ・SPM排出量の削減が期待される。										

⑨他プロジェクトとの関係

- ・一般国道180号岡山環状南道路(H21年度事業化)、岡山西バイパス(R2年度事業化)と一体的に整備。
- ・第3次晴れの国おかやま生き生きプラン(R3.3)において「企業誘致・投資促進プログラム」の重点施策「交通基盤整備」に位置づけ
- ・岡山市第六次総合計画後期中期計画(R3.6)において「人と環境にやさしい交通ネットワークの構築」の重点施策「道路ネットワークの充実・強化」に位置づけ
- ・倉敷市第七次総合計画(R3.3)において「各地域・地区の中心部の利便性が向上するまちづくりを推進する」ための基本方針に位置づけ
- ・第5次早島町総合計画(R4.3)において「総合的な交通体系の形成」を図る施策に位置づけ

関係する地方公共団体等の意見

岡山県知事の意見: 対応方針(原案)は妥当である。

本路線は、高規格道路「岡山倉敷道路」の一部を構成する。国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。特に当該区間は、慢性的な渋滞により、定時性や安全性、企業活動の生産性が著しく低下している。当該区間の整備により、慢性的な渋滞や交通事故等の問題が解消し、日常生活の利便性向上や産業の支援及び災害時にも機能することから、早期整備は地元の悲願であり、当該区間の早期整備を強く望む。なお、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に取り組んでいただきたい。

岡山市長の意見: 対応方針(原案)に異議ありません。

一般国道2号 岡山倉敷立体(I期)は、古新田交差点～無津交差点を立体化することにより、国道2号の渋滞緩和、物流の効率化による産業振興に大きく寄与する重要な道路であるため、早期開通に向けた着実な整備を要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・令和4年4月に岡山環状道路の一部を形成する岡山市道藤田浦安南町線が開通、令和5年2月に国道2号大樋橋西交差点の立体化が完成。
- ・周辺地域においては、事業化以降に物流施設が相次いで立地・稼働。
- ・倉敷市が推進する道路事業が国道2号に接続。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和6年度末時点で事業全体の進捗率は約1%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、道路設計、用地買収を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

「事業再評価」 一般国道2号 おかやま ぐらしき 岡山倉敷立体(Ⅰ期)

令和6年12月
国土交通省 中国地方整備局

1. 再評価の重点化・効率化判定票

(道路・街路事業)

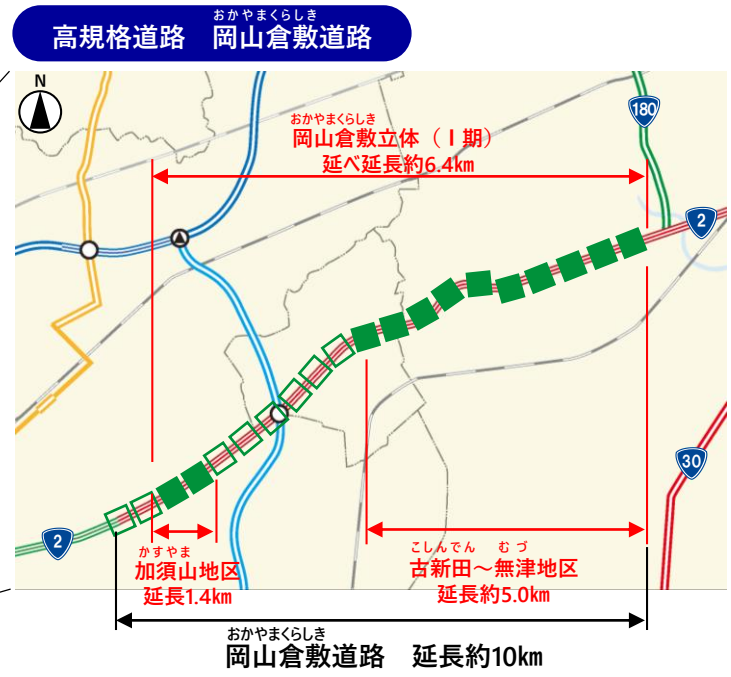
おかやま くらしき
一般国道2号 岡山倉敷立体(1期)

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	対象路線沿線市町村の人口 R4.1:1,197,074人 → R6.1:1,187,349人 対象路線沿線市町村の自動車保有台数R4.3: 909,077台 → R5.3:914,536台 おかやま くらしき はやしまちょう ※対象路線沿線市町村:岡山市・倉敷市・早島町	変化なし ■	変化あり □
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
		10%以内 増加無し 増加 10%超え	
事業費の増加	全体事業費:430億円(R4年度新規採択時) → <u>622億円(R6年度再評価時)</u> ※変化率45%	□	□ ■
事業期間の増加	10年(R4年度新規採択時) → <u>13年(R6年度再評価時)</u> ※変化率30%	□	□ ■
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	R5.12_費用便益分析マニュアル改定 ただし、比較参考のための社会的割引率の記載のため、該当しない	変化なし ■	変更あり □
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	5,118,257TE/日(R4年度新規採択時) → 5,118,257TE/日(R6年度再評価時) ※変化率0.0%	10%以下 ■	10%超え □
周辺ネットワークで新規事業化がない	<u>(仮)生坂二日市線、(仮)二日市曽根線</u>	なし □	あり ■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	直近3ヶ年の事業費の平均に対する分析費用 2.8% > 基準値(1.0%) 前回評価時の感度分析下位ケース 2.3 > 基準値(1.0)	満足している ■	満足していない □
前回評価で資料の作成を省略していない		省略していない ■	省略している □
前回評価で費用対効果分析を省略していない		省略していない ■	省略している □
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	特になし	—	
以上より、審議区分 : 重点 資料 : 作成 費用対効果分析 : 実施 とする。			

2. 事業概要

(1)位置図

- 一般国道2号は、大阪府大阪市から福岡県北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。
- 一般国道2号岡山倉敷立体(Ⅰ期)は、岡山県岡山市南区古新田から都窪郡早島町早島及び倉敷市加須山から同市二日市の延べ延長6.4kmの道路であり、高規格道路「岡山倉敷道路」の一部を構成するものである。



<凡例>		
	高速自動車国道	開通区間
	本州四国連絡道路	開通区間
	高規格道路	開通区間
	高規格道路	事業中区間
	高規格道路	調査中区間
	直轄国道	開通区間
	直轄国道	事業中区間
	補助国道	

一般国道2号 おかやま くらしき 岡山倉敷立体(1期)

・**岡山市～倉敷市間における交通の円滑化及び交通安全の確保、産業の活性化等を目的とした事業である。**



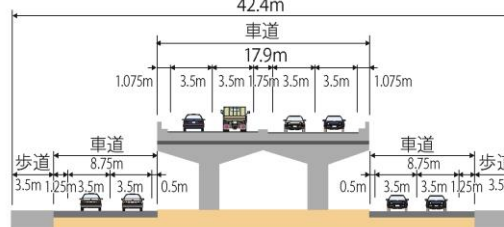
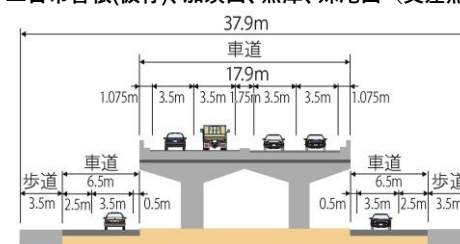
【写真①】^{かすやま}加須山地区



【写真②】^{こしんでん}古新田～^{むづ}無津地区



せのおひがし こしんでん せのおにし
 妹尾東、古新田、妹尾西（交差点東側）
 42.4m

ふつかいちそね かすやま むづ せのおにし
二日市曾根(仮称)、加須山、無津、妹尾西 (交差点西側)

事業名	一般国道2号 岡山倉敷立体(1期)
起 終 点	■古新田～無津地区 こしんでん むづ おかやま おかやま みなみ こしんでん 起点：岡山県岡山市南区古新田 おかやま つくば はやしな はやしな 終点：岡山県都窪郡早島町早島 かすやま ■加須山地区 おかやま くらしき かすやま 起点：岡山県倉敷市加須山 おかやま くらしき みづかいち 終点：岡山市倉敷市二日市
計画延長	6.4km こしんでん むづ 古新田～無津地区：5.0km かすやま 加須山地区：1.4km
道路規格	第3種第1級
設計速度	本線：60km/h、側道：40km/h
車線数	本線：4車線、側道：2～4車線
全体事業費	約622億円

一般国道2号 おかやま くらしき 岡山倉敷立体(1期)

- ・令和4年度に事業着手し、令和6年度より用地着手している。
- ・現在は、用地進捗率が約1%であり、道路設計、用地買収を推進している。

年度	内容
令和 3 年度	都市計画変更
令和 4 年度	事業着手
令和 5 年度	設計説明会開催
令和 6 年度	用地着手予定

用地	1%
工事	0%
全体	1%

[illegible]

3. 前回評価時からの主な周辺環境の変化

一般国道2号 岡山倉敷立体(Ⅰ期)

- ・令和4年4月に岡山環状道路の一部を形成する岡山市道藤田浦安南町線が開通、令和5年2月に国道2号大樋橋西交差点の立体化が完成。
- ・周辺地域においては、事業化以降に物流施設が相次いで立地・稼働。
- ・倉敷市が推進する道路事業が国道2号に接続(北側:(仮)生坂二日市線(1.02km)、南側:(仮)二日市曾根線(0.85km))。

主な周辺環境の変化 (前回評価時：令和3年度)



- 事業区間
- 高速道路
- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道
- 一般県道
- その他道路
- 物流施設 (R4.4以降稼働)

物流施設：日本立地総覧
およびニュースサイトに掲載の施設
注) 岡山市、早島町、倉敷市を対象

物流施設の稼働
・岡山倉敷立体 (Ⅰ期) 事業化以降、
周辺地域に物流施設が立地・稼働

倉敷市が推進する道路事業が国道2号に接続
北側：(仮) 生坂二日市線 (1.02km)
南側：(仮) 二日市曾根線 (0.85km)

コネクtparking岡山・早島
・令和6年4月に新規事業化
・物流事業者の中継拠点として、ドライバーの労働環境の改善が期待

【写真①】整備予定箇所

大樋橋西高架橋
・令和5年2月に国道2号大樋橋西交差点の立体化事業が完成

写真：令和5年2月撮影
【写真②】大樋橋西高架橋

市道藤田浦安南町線
・令和4年4月に開通
・岡山環状道路の一部区間を形成

写真：岡山市提供
【写真③】笹ヶ瀬令和橋

(1) 現状の課題

課題①：国道2号の交通混雑



整備効果①：国道2号の交通混雑の緩和、速度向上

課題②：国道2号の交通事故



整備効果②：死傷事故件数の削減

(2) 道路整備により期待される効果

①：物流効率化の支援



整備効果③：おかやま岡山市南部地域の物流効率化を支援

②：周遊観光の支援



整備効果④：交通円滑化による周遊観光を支援

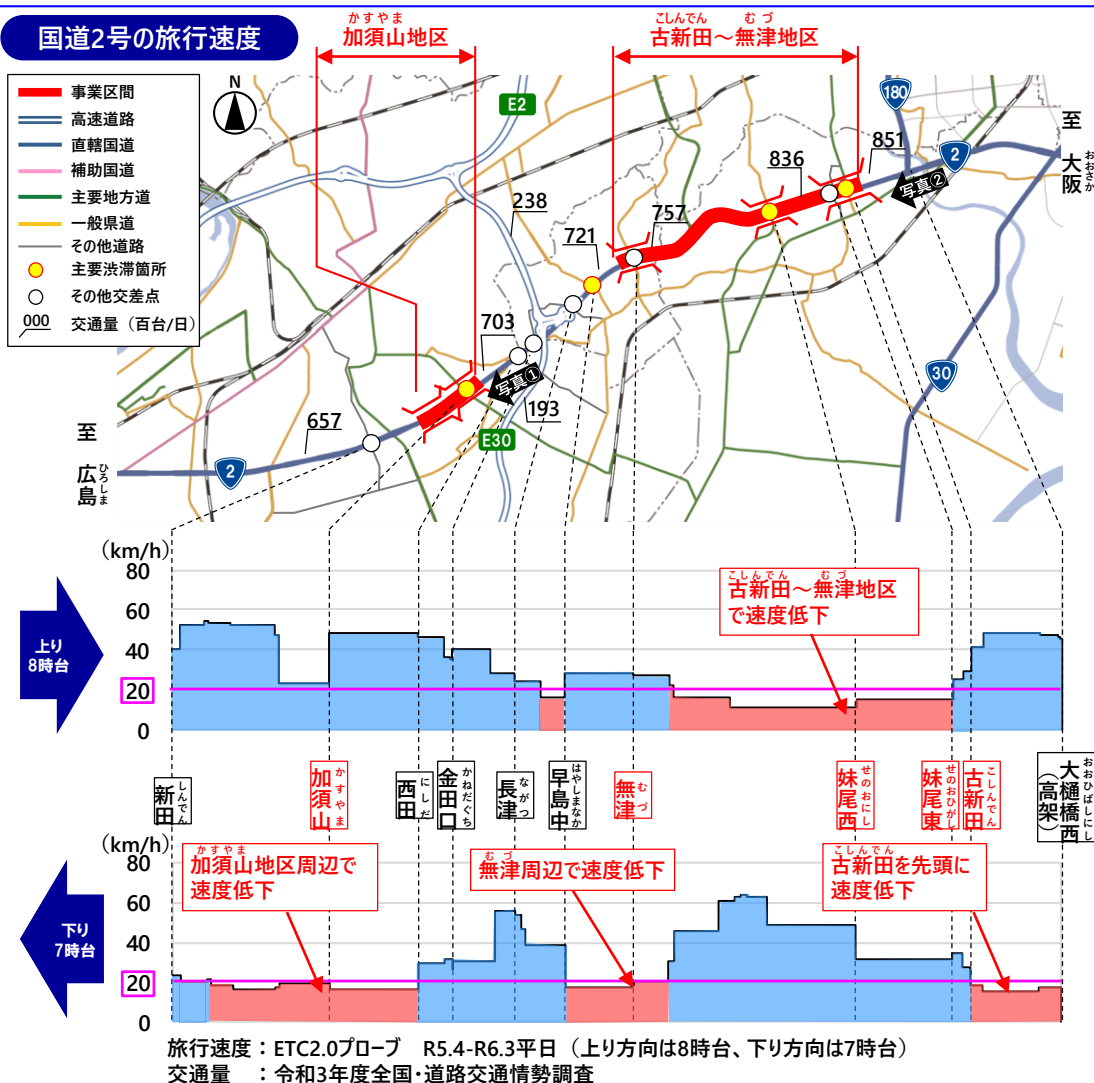
4. 事業の必要性

(1) 現状の課題

① 国道2号の交通混雑

- ・事業区間内の主要渋滞箇所は、^{こしんでん}古新田～^{むづ}無津地区では2箇所(^{こしんでん}古新田交差点、^{せのおにし}妹尾西交差点)、^{かすやま}加須山地区では1箇所(^{かすやま}加須山交差点)存在し、上下方向ともに主要渋滞箇所周辺で20km/hを下回る速度低下が発生している。
- ・^{おかやまぐらしき}岡山倉敷立体(Ⅰ期)の整備により、交差点が立体化することで混雑の緩和・解消が期待される。

国道2号の旅行速度



国道2号の交通状況

【写真①】^{かすやま}加須山地区の渋滞状況



【写真②】^{こしんでん}古新田～^{むづ}無津地区の渋滞状況

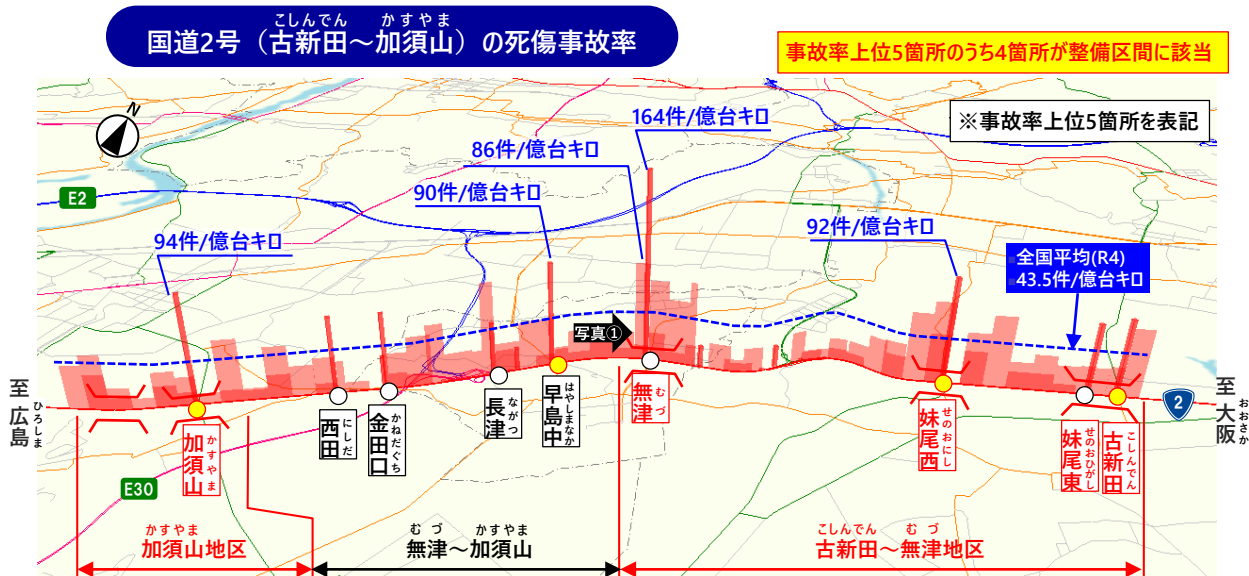


4. 事業の必要性

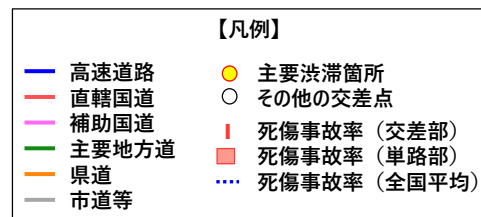
(1) 現状の課題

② 国道2号の交通事故

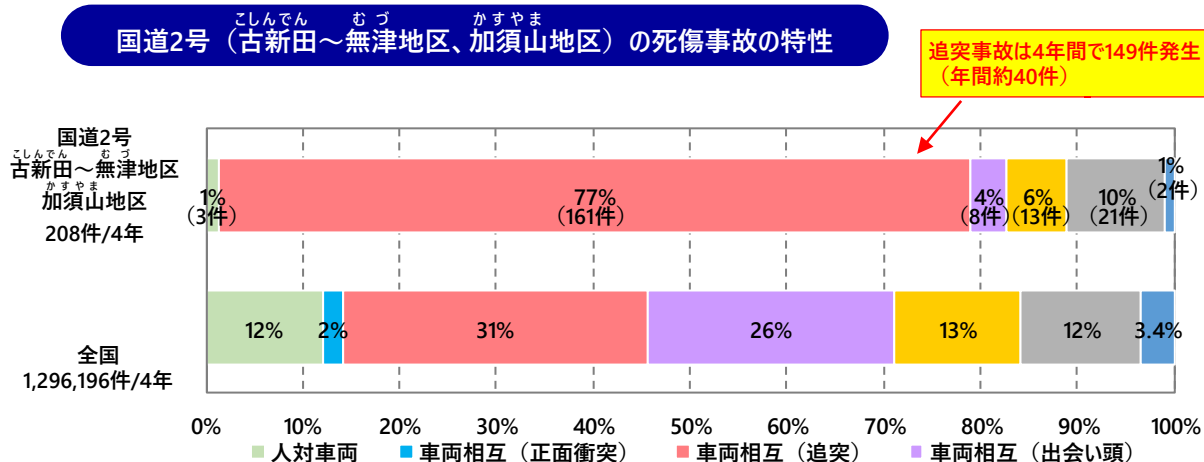
- ・国道2号の古新田～無津、加須山地区では令和元年から令和4年まで事故件数が208件(年間52件)発生しており、死傷事故率の高い箇所は立体化予定の4交差点周辺に集中している。また、追突事故は161件(年間約40件)と事故全体の約8割を占めている。
- ・岡山倉敷立体の整備により交通が整流化されることで、交通事故の削減が期待される。



【写真①】無津交差点の交通事故



国道2号：交通事故・道路統合データベース (R1-R4)
全国平均：令和5年度版交通統計 (令和4年平均値)



- 人対車両
- 車両相互(正面衝突)
- 車両相互(追突)
- 車両相互(出会い頭)
- 車両相互(右左折)
- 車両相互(その他)
- 車両単独

国道2号：交通事故・道路統合データベース (R1-R4)
全国：令和5年度版交通統計 (R1-R4)

4. 事業の必要性

(2) 道路整備により期待される効果

① 物流効率化の支援

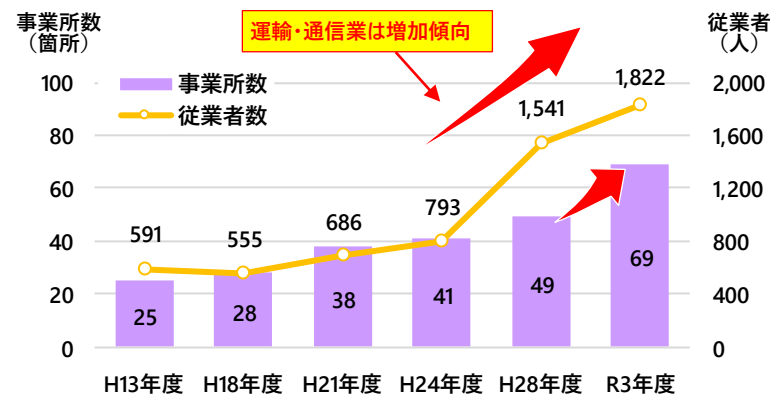
- ・早島町は、中四国・京阪神地域のクロスポイントであり、運輸・通信業の事業所数および従業者数は増加傾向を示している。
- ・沿線地域では、コネクtpパーキング岡山・早島の整備や、物流施設の立地が計画されており、物流の需要が更に高まっているが、事業区間は渋滞により通過時間の差が大きく、特に朝ピーク時は20分以上のばらつきが発生し、物流活動を阻害している。
- ・岡山倉敷立体の整備により、慢性的な交通混在が解消し定時性が向上することによって、物流効率化が期待される。

事業区間周辺の物流拠点

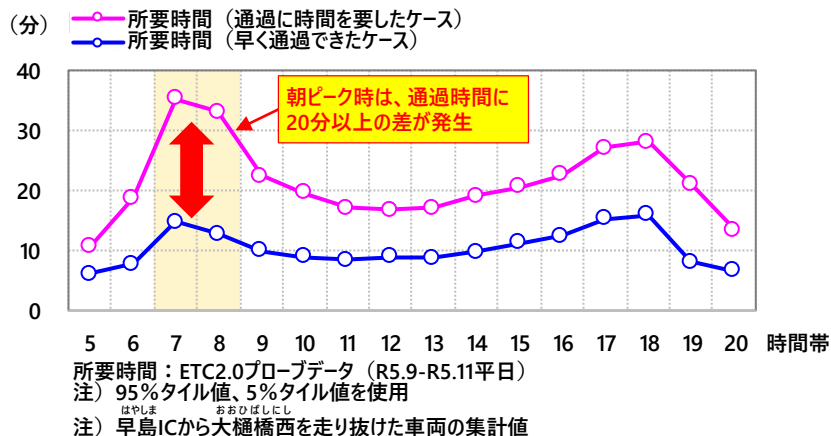
事業区間周辺は物流施設が続き稼働



早島町の運輸・通信業の推移



所要時間のばらつき(早島IC→大樋橋西)



地域の声



流通業者

- ・国道2号の古新田～加須山間は慢性的な渋滞により、配送センターへの入荷遅れや店舗配送の指定時刻に間に合わない場合があります。
- ・岡山倉敷立体(Ⅰ期)の整備により、店舗への納品時間が安定し円滑な商品供給が可能になるほか、ドライバーの負担軽減につながると考えます。

4. 事業の必要性

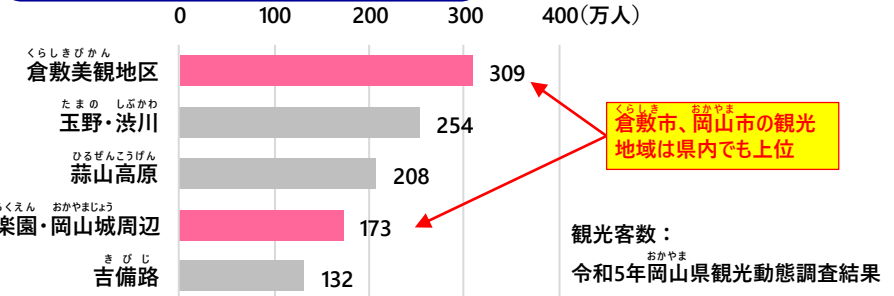
(2) 道路整備により期待される効果

② 周遊観光の支援

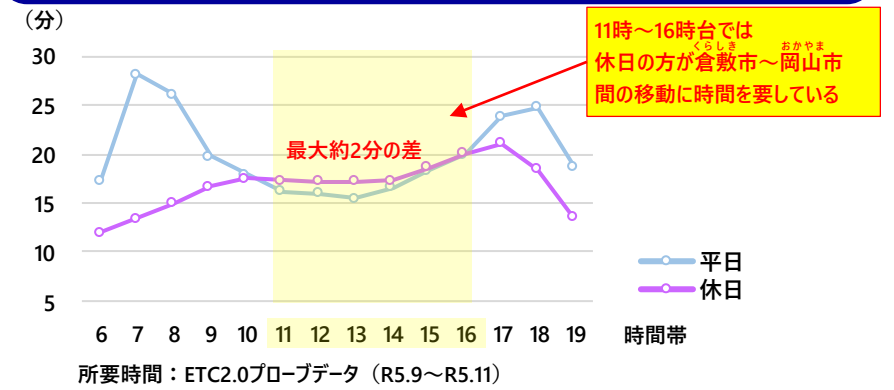
- ・事業区間は、県内でも観光入込客数が上位にある倉敷美観地区(倉敷市)や後楽園・岡山城周辺(岡山市)をつなぐ、観光周遊ルートとなるが、渋滞によって休日は平日よりも岡山市～倉敷市間の移動に時間を要しており、周遊機能が損なわれている。
- ・岡山倉敷立体の整備により、岡山市～倉敷市間の所要時間が短縮することで、周遊性が向上し、観光振興の支援が期待される。



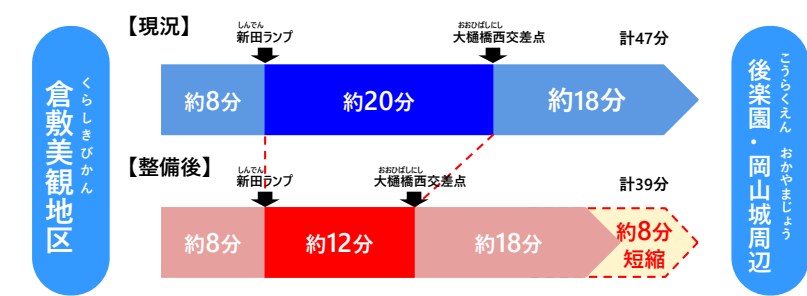
観光地域別の観光客数 (上位5位)



平日・休日別の国道2号の所要時間 (新田ランプ部～大樋橋西交差点)



時間短縮効果 (休日)



所要時間：ETC2.0プローブデータ (R5.9～R5.11休日) 10時～18時平均速度より算出

注) 整備後の古新田～無津地区 (約5km)、加須山地区 (約1.4km) は60km/hで算出

地域の声



岡山倉敷間の国道2号は、昼間は平日より休日の方が渋滞している印象で、県を代表する観光地である後楽園と美観地区の移動に不便な状況となっています。

岡山倉敷立体の整備により、岡山倉敷間の渋滞が解消し、所要時間が短縮することで、後楽園と美観地区の周遊が促進され、更なる観光振興につながると考えています。

・総事業費(増額後):622億円、今回増額:192億円(約45%増)

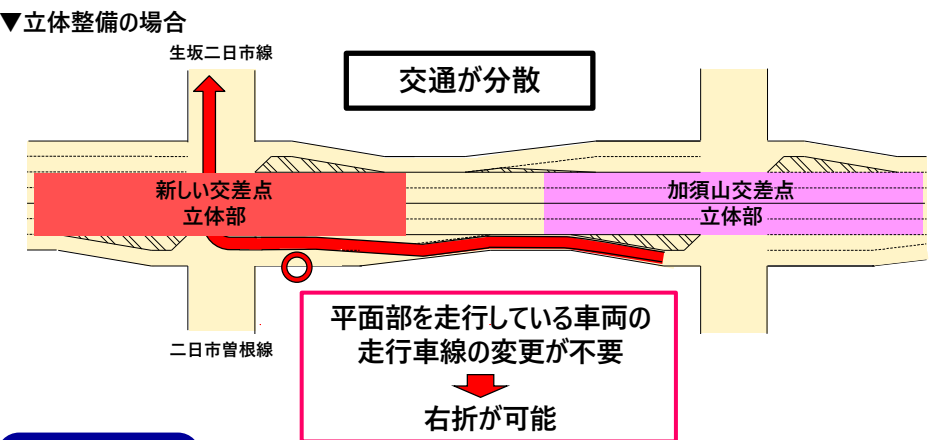
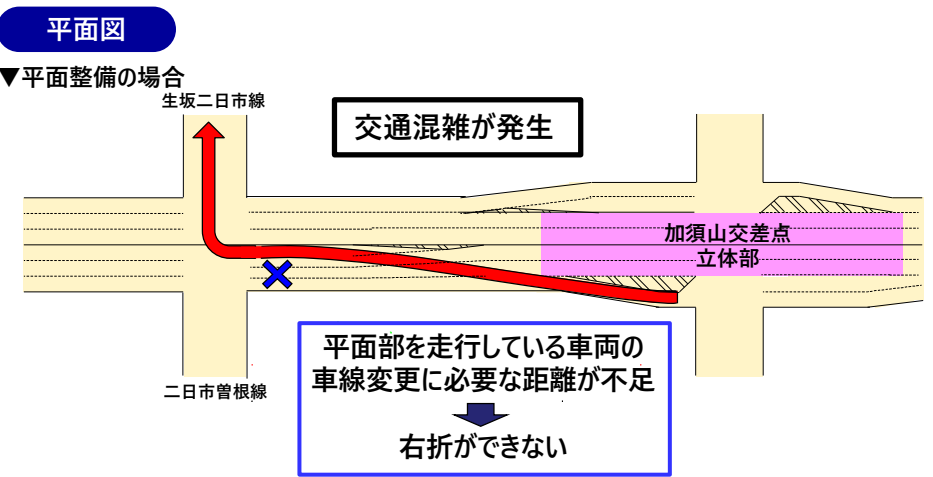
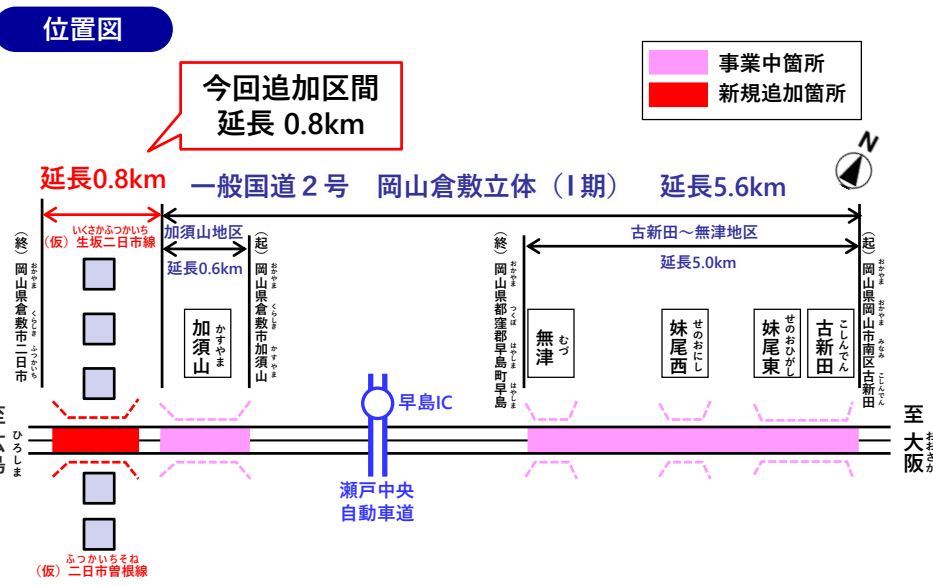
コスト増加の内訳

項目	増額費用
①事業区間延伸による増加	126億円
②労務費・物価上昇による増加	66億円
合 計	192億円

①事業区間延伸による増加

約126億円の増額

市道生坂二日市線及び市道二日市曾根線を倉敷市が事業化し、国道2号に新しい交差点が出来ることで、交通混雑する事が予測される。加須山交差点と新しい交差点が近接しており、右折のための車線変更に必要な距離が確保できないため、新しい交差点を立体化し、加須山交差点と同時に整備する必要がある。



工事費内訳

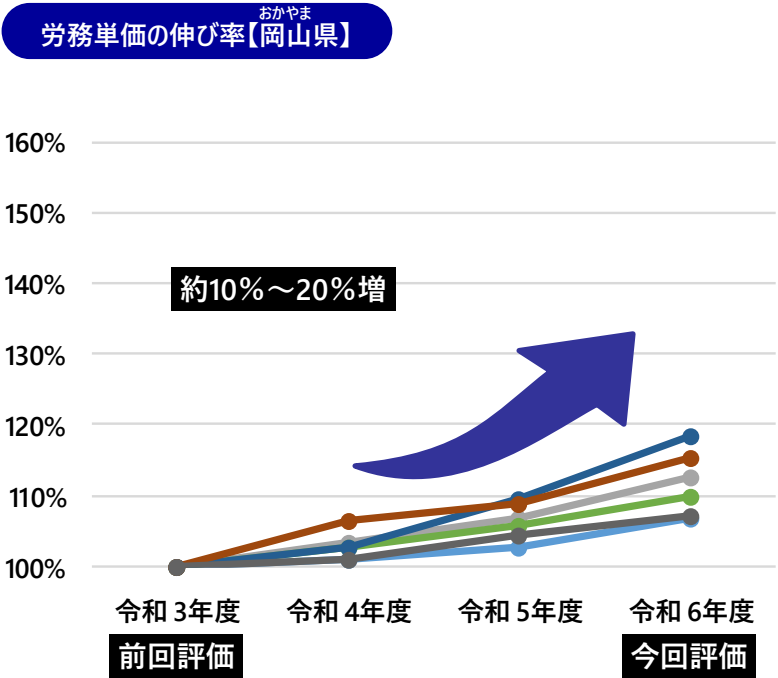
<二日市曾根交差点(仮称)立体化に要する費用の内訳>

(計) 126.0億円増

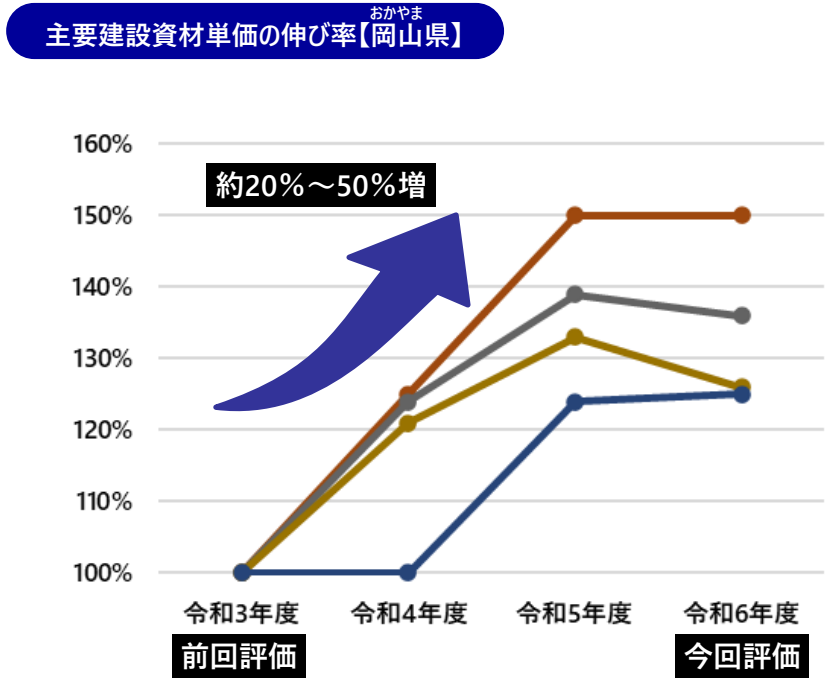
②労務費・物価上昇による増加

約66億円の増額

・前回評価(令和3年度)後の資機材・労務単価上昇によって、増額の必要が生じた。



【凡例】	
橋梁塗装工	107%
普通作業員	113%
橋梁特殊工	110%
橋梁世話役	118%
土木一般世話役	115%
鋼橋制作工	107%



【凡例】	
鋼板SS400	150%
等辺山形鋼 SS400	136%
異形棒鋼 SD345 D16~25	126%
生コンクリート(24-12-25(20)(高炉))	125%

②労務費・物価上昇による増加

・資機材、労務単価上昇に伴う内訳を示す。主な増加は、改良費と橋梁費に掛かる増額となっている。理由としては、鋼材、生コンクリート等の材料単価の上昇、工事における労務単価等の上昇である。

<物価上昇内訳>

(百万円)

		R3新規採択 (R4以降残)	R6再評価 (R4以降残)	物価上昇
工事費		28,948	34,154	5,206
	改良費	10,529	12,487	1,958
	橋梁費	17,076	19,999	2,923
	トンネル費	0	0	0
	IC・JCT費	0	0	0
	舗装費	1,027	1,251	224
	安全施設費	71	94	23
	付帯施設費	245	323	78
用地費及補償費		7,930	7,930	0
	用地費	1,183	1,183	0
	補償費	6,747	6,747	0
間接経費		6,122	7,551	1,429
全体事業費		43,000	49,635	6,635

<物価上昇理由>

- 主要構造物（残数量）
鋼橋（Me） 4 橋
- その他費用
・鋼材、生コンクリートの価格高騰。
・工事における労務単価の上昇。

6. 今回のとりまとめ結果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については従来の3便益に加え「地域から期待される道路の役割」等を整理。

■3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	464	460
事業費	441	437
維持管理費	23	23
便益額 (B)	1,007	1,007
走行時間短縮便益	745	745
走行経費減少便益	226	226
交通事故減少便益	37	37
費用便益比	2.2 3.3 [2%] ※1 4.1 [1%] ※1	2.2 3.3 [2%] ※1 4.1 [1%] ※1

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費（燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費）の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失（運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構築物に関する物的損害額等）が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

・総費用、総便益については、基準年（R6年）における現在価値を記入
・費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある
※1 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率

■まとめ

計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3便益 (B)	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
68,600台/日～77,800台/日	約622億円	464億円	1,007億円	2.2 (2.2)

※基準年：R6年

■道路の役割

- ①渋滞損失時間の削減 [約1,373千人・時間/年（1.7%）削減]
- ②地球環境の保全 [CO₂排出量：約11.2千トン/年（0.4%）削減]
- ③生活環境の改善・保全 [NO_x排出量：約43.1トン/年（0.6%）削減、SPM排出量：約2.5トン/年（0.7%）削減]

※当該事業の開通に影響を受けるエリアを対象に算定

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇令和4年4月に岡山環状道路の一部を形成する岡山市道藤田浦安南町線ふじたうらやすみなみまちが開通、令和5年2月に国道2号大樋橋西交差点おちひばしにしの立体化が完成。
◇周辺地域においては、事業化以降に物流施設が相次いで立地・稼働。
◇倉敷市くらしきが推進する道路事業が国道2号に接続（北側：（仮）生坂二日市線いくさかふつかいち（1.02km）、南側：（仮）二日市曾根線ふつかいちそね（0.85km））。

2) 事業の効果

◇費用便益比（B/C）= 2.2（事業全体） 2.2（残事業）
◇道路の役割
①渋滞損失時間の削減〔約1,373千人・時間/年（1.7％）削減〕※
②地球環境の保全〔CO₂排出量：約11.2千トン/年（0.4％）削減〕※
③生活環境の改善・保全〔NO_x排出量：約43.1トン/年（0.6％）削減、SPM排出量：約2.5トン/年（0.7％）削減〕※

※当該事業の開通に影響を受けるエリアを対象に算定

3) 事業の進捗状況

◇令和6年度末で事業全体の進捗率は1％になる見込みである。

②事業の進捗見込み

◇現在、道路設計、用地買収を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

2. 県・市への意見照会結果

◇岡山県知事の意見：妥当である。
本路線は、高規格道路「岡山倉敷道路」の一部を構成する。国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。特に当該区間は、慢性的な渋滞により、定時性や安全性、企業活動の生産性が著しく低下している。当該区間の整備により、慢性的な渋滞や交通事故等の問題が解消し、日常生活の利便性向上や産業の支援及び災害時にも機能することから、早期整備は地元の悲願であり、当該区間の早期整備を強く望む。なお、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に取り組んでいただきたい。
◇岡山市長の意見：異議ありません。
一般国道2号 岡山倉敷立体（Ⅰ期）は、古新田交差点～無津交差点を立体化することにより、国道2号の渋滞緩和、物流の効率化による産業振興に大きく寄与する重要な道路であるため、早期開通に向けた着実な整備を要望します。

【今後の対応方針（原案）】

◇以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも事業継続が妥当。
◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

◆前回評価時との比較

	前回評価時 (令和4年度)	今回評価時 (令和6年度)	備 考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=5.6km	L=6.4km	・都市計画道路（生坂二日市線交点及び二日市曾根線）の交差部の立体化に伴う事業区間の延長
計画交通量	63,200～76,200台/日	68,600～77,800台/日	・最新の事業化ネットワークに変更
総事業費	約430億円	約622億円	・事業区間延伸による増加 ・労務費・物価上昇による増加
総費用 (C)	348億円	464億円	・総事業費の増加 ・基準年の変更（R3基準からR6基準）
総便益 (B)	879億円	1,007億円	・基準年の変更（R3基準からR6基準）
費用対効果 (B/C)	2.5	2.2	・総費用及び総便益の見直し

※費用/便益は基準年における現在価値の値

基本3便益以外の効果項目	算定概要
(1) 温室効果ガス低減	走行性改善によるCO ₂ 排出量削減効果を便益として算定
(2) NOx削減	走行性改善によるNOx排出量削減効果を便益として算定

【参考】3便益以外の便益

関連SDGs

11



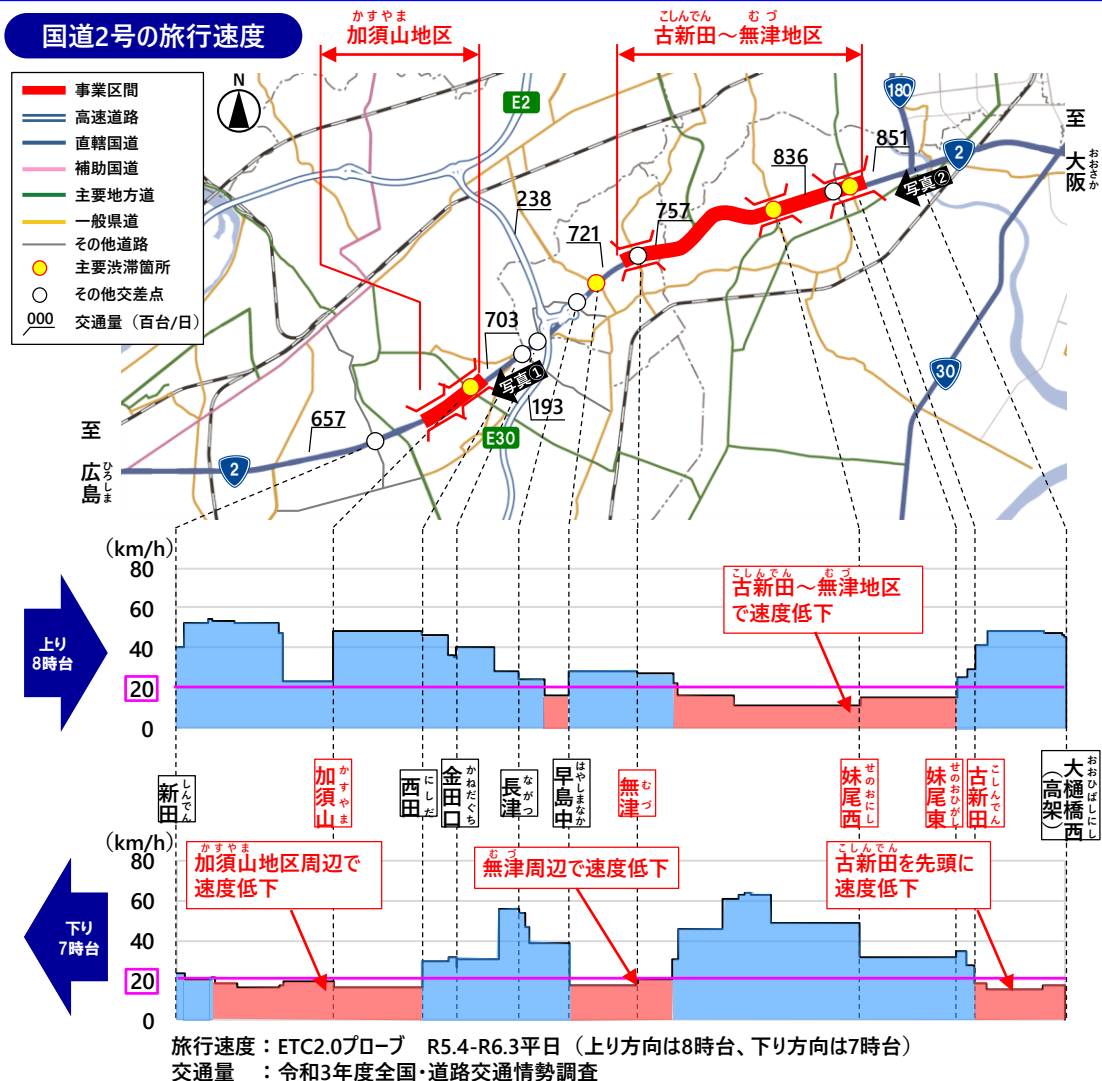
13



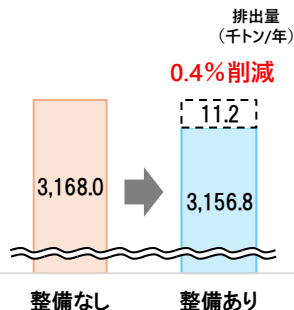
①環境負荷ガス排出量削減に伴う生活環境改善効果

効果項目：(1)温室効果ガス削減、(2)NOx削減

- 事業区間内の主要渋滞箇所は、古新田～無津地区では2箇所(古新田交差点、妹尾西交差点)、加須山地区では1箇所(加須山交差点)存在し、上下方向ともに主要渋滞箇所周辺で20km/hを下回る速度低下が発生している。
- 岡山倉敷立体(Ⅰ期)が整備されることで走行速度が向上し、環境負荷ガス排出量の削減により生活環境が改善する。

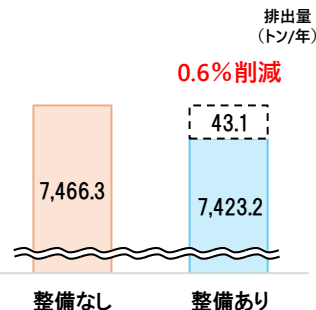


CO₂削減量



※影響エリア全体として
データ：交通量推計結果

NOx削減量



※影響エリア全体として
データ：交通量推計結果

環境負荷排出量削減に伴う環境改善効果

⇒ CO₂：4.51億円、NOx：0.48億円

※影響エリア全体を対象に整備後50年間の便益額として試算した値

便益額 (試算値) =
(整備なしの排出量貨幣評価値 - 整備ありの排出量貨幣評価値)
×365日×評価期間 (整備後50年間)

岡山県への意見照会と回答

国中整企画第46号
国中整港計第25号
令和6年11月11日

岡山県知事 様

国土交通省 中国地方整備局長
(公 印 省 略)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を確保するため、中国地方整備局事業評価監視委員会（以下、「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針（原案）について審議しております。

このたび、令和6年12月4日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針（原案）の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を賜りたく依頼致します。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道２号 岡山倉敷立体（Ⅰ期）	継続	
一般国道２号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）	継続	
一般国道２号 笠岡バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業評価監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成します。

■ ご意見の返信期限：令和６年１１月２６日（火）まで （※様式自由）

■ 返信・お問い合わせ先

〒730-8530 広島市中区上八丁堀６－３０ 広島合同庁舎２号館

中国地方整備局 企画部 企画課

建設専門官 前田 （内線：３１５３）<maeda-k87mb@mlit.go.jp>

係 長 土井 （内線：３１６６）<doi-y87uk@mlit.go.jp>

係 員 三島 （内線：３１６７）<mishima-s87vh@mlit.go.jp>

TEL：０８２－２２１－９２３１（代表）

技 第 3 9 3 号
令和6年11月29日

国土交通省 中国地方整備局長
林 正道 様

岡山県知事 伊原木 隆太

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

令和6年11月11日付け、国中整企画第46号及び国中整港計第25号で照会のあ
った、次の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- 1 一般国道2号 岡山倉敷立体（Ⅰ期）
- 2 一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）
- 3 一般国道2号 笠岡バイパス

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	道路建設課
事業名	一般国道2号 岡山倉敷立体（I期）	
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である ・ 妥当でない	
（意見） 本路線は、高規格道路「岡山倉敷道路」の一部を構成する。 国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。 特に当該区間は、慢性的な渋滞により、定時性や安全性、企業活動の生産性が著しく低下している。当該区間の整備により、慢性的な渋滞や交通事故等の問題が解消し、日常生活の利便性向上や産業の支援及び災害時にも機能することから、早期整備は地元の悲願であり、当該区間の早期整備を強く望む。 なお、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に取り組んでいただきたい。		

※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※2 具体的な意見がある場合は、（意見）欄に記載をして下さい。

特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、（意見）欄にその理由を必ず記載して下さい。

※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにしてください。

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	道路建設課
事業名	一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）	
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である ・ 妥当でない	
（意見） 本路線は、広島県東部と岡山県西部を連絡する高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する。 国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。 県西部では、令和2年3月の倉敷立体の完成により、渋滞が大きく緩和したところであり、平成27年3月に供用した玉島・笠岡道路（Ⅰ期）の整備効果を最大限発揮させるためにも、本区間の早期供用が重要である。 県としてもアクセス道路の整備を着実に進めているところであり、玉島・笠岡道路の令和8年度の確実な開通を強く望む。 なお、事業費の増加はやむを得ないものとするが、一層のコスト縮減に取り組むとともに、当面の暫定2車線での供用に向けて効率的に事業を進めていきたい。また、県施行のアクセス道路が地元の希望する時期に確実に開通できるよう県との連携に万全を期していただきたい。		

- ※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。
- ※2 具体的な意見がある場合は、（意見）欄に記載をして下さい。
- 特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、（意見）欄にその理由を必ず記載して下さい。
- ※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにしてください。

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	道路建設課
事業名	一般国道2号 笠岡バイパス	
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である ・ 妥当でない	
(意見) 本路線は、広島県東部と岡山県西部を連絡する高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する。 国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。 アクセス道路について、県は整備を終え、笠岡市が全力で整備に取り組んでいる。沿線に立地している企業の生産性の向上のためにも、開通見通しを公表している笠岡東IC(仮称)～新笠岡港東IC(仮称)間の令和7年度の確実な開通と、残る区間の1日も早い開通を強く望む。 なお、事業費の増加はやむを得ないものとするが、一層のコスト縮減に取り組むとともに、当面の暫定2車線での供用に向けて効率的に事業を進めていただきたい。		

- ※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。
- ※2 具体的な意見がある場合は、（意見）欄に記載をして下さい。

特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、（意見）欄にその理由を必ず記載して下さい。
- ※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにしてください。

岡山市への意見照会と回答

国中整企画第46号
国中整港計第25号
令和6年11月11日

岡山市長 様

国土交通省 中国地方整備局長
(公 印 省 略)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を確保するため、中国地方整備局事業評価監視委員会（以下、「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針（原案）について審議しております。

このたび、令和6年12月4日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針（原案）の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を賜りたく依頼致します。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道２号 岡山倉敷立体（Ⅰ期）	継続	
一般国道１８０号 岡山環状南道路	継続	

※貴市の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業評価監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成します。

■ ご意見の返信期限：令和６年１１月２６日（火）まで （※様式自由）

■ 返信・お問い合わせ先

〒730-8530 広島市中区上八丁堀６－３０ 広島合同庁舎２号館

中国地方整備局 企画部 企画課

建設専門官 前田 （内線：３１５３）<maeda-k87mb@mlit.go.jp>

係 長 土井 （内線：３１６６）<doi-y87uk@mlit.go.jp>

係 員 三島 （内線：３１６７）<mishima-s87vh@mlit.go.jp>

TEL：０８２－２２１－９２３１（代表）

岡道計第 166 号
令和6年11月15日

中国地方整備局長 様

岡山市長 大 森 雅 夫
(公 印 省 略)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年11月11日付け国中整企画第46号で照会のありました「一般国道2号 岡山倉敷立体(I期)および一般国道180号 岡山環状南道路」の再評価に係る対応方針(原案)に対する意見について、下記の通り回答します。

記

1 意 見 異議ありません。

一般国道2号 岡山倉敷立体(I期)は、古新田交差点～無津交差点を立体化することにより、また一般国道180号 岡山環状南道路は、岡山市の外環状線の一部を構成し、大樋橋西交差点～錦南交差点を接続することにより、岡山市中心市街地や国道2号の渋滞緩和、物流の効率化による産業振興に大きく寄与する重要な道路であるため、早期開通に向けた着実な整備を要望します。

<問い合わせ先>

岡山市 都市整備局

道路部 道路計画課

課長 渡 辺 伸 司

T E L 086-803-1696